

お久しぶりです。充実した夏休みを過ごすことができましたか？

夏休み中も、みなさんがボランティア、部活動などでがんばる話をたくさん聞き、とてもうれしかったです。きっと一回りも二回りもたくましくなったことと思います。そんなみなさんとまた学校生活をスタートできることをうれしく思っています。

さて、今日から3期がスタートします。その3期についての話をしたいと思います。

3期の目標は「思いを伝える」です。重点活動は体育祭と前期のしめくり活動です。

それでは、この「思いを伝える」とはどういうことでしょうか？このことについて具体的に話したいと思います。

みなさんには、今年度はじめに、自分で決めた「なりたい自分」の目標があると思います。4月から今まで、そして夏休み、そのなりたい自分に向ってがんばってきたと思います。今回もそのなりたい自分に向って、引き続き挑戦していきます。

まずは、夏休みの生活リズムから学校の生活リズムに戻すために、自分の担当や係活動を精一杯行っていきましょう。ここでもポイントは、「仲間がスムーズに学校生活を送れるように自分ができることをする」ということです。自分のことはもちろん、仲間のことをよく考えるということですね。

次に、係活動を通して、さらに自分とクラスに力をつけていくために、必要なことは何だろう？と改めて考えてみてください。これは、自分の係や担当に「思いや願い」をもつ、ということです。この思いや願いをもつことで、もう一段上の活動に力も入ってきます。時には、この思いや願いを仲間に伝えていくことも必要かもしれません。

こうした一人一人の思いや願いを基にした活動ですが、うまくいくためには、クラス内での呼応が必要です。呼応とは呼びかけに応えるということですね。クラスの質を高めることは、一人のがんばりではできません。仲間のがんばる思いや願いに応え、自分も積極的に協力していくことです。学級の中には、いろいろな特性や考えをもった子がいます。それぞれの仲間にあわせた協力や手助けをしていく。そんな関係がクラスの中に生まれてくれば最高ですね。

そしてぜひ、活動する中で、自分を客観的に見てみましょう。もっと自分にできることは何か、逆に自分の弱いところはどんなところか、活動の中で自分を冷静に見つめてみてください。自分なりに考えることができれば、直したり、さらに伸ばしていくこともできると思います。

みなさんのがんばりを助けてくれる仲間が必ずクラスにはいます。仲間とともにがんばってみてください。

この3期には、体育祭や前期のしめくり活動など、がんばれる場面やチャンスがいっぱいあります。結果として、前期最高の自分の姿やクラスの成長につながっていくと思います。

また、この3期は、校長先生がいつもお話しされている「I c mの主体性 与えられる存在から与える存在へ」を実践するチャンスです。特に「与える存在」として、この3期に自分自身を成長させていってください。

それでは、思いを伝える3期のスタートです！